



### 芦屋が総合点ではトップ 大阪市内では暮らし心地と活気は別評価

今年で9回目となる「わが街の暮らし心地」比較。総合平均点では、昨年12位だった芦屋市がトップに躍り出た。

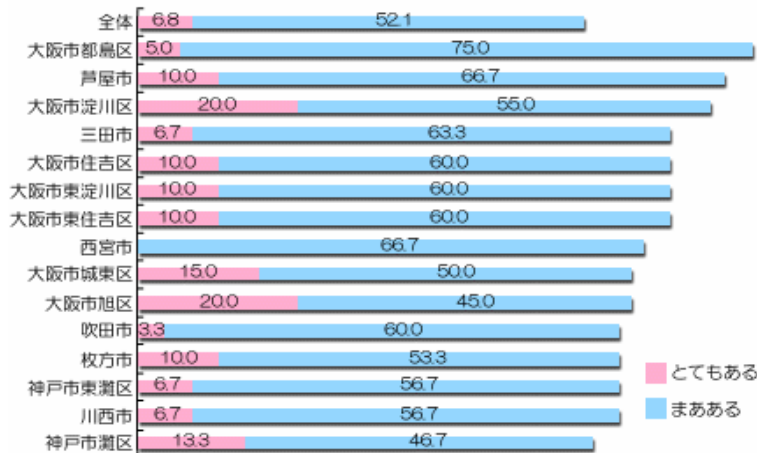
街に活気があるかとの問いでは、大阪市都島区がトップ。都島区は総合点では21位と低調で、「商業施設が充実しているので人は集まるから」(34歳)、「商店街の買い物客のおかげで活気がある」(37)などの回答が目立ち、活気評価が暮らし心地に直結していない。同じような傾向は大阪市内の他区でも同様に見られた。一方、総合点で1位の芦屋市では、様相が違う。「商業的な活気はないが、静かな住み心地の良い活気がある」(34)、「震災後の復興も進み、空き地がだんだん減って、美しい街作りがすすんでいる」(58)など、暮らしの豊かさに活気を結びつける声が多数上がっていた。

活気評価でほとんどの市区のコメントに見られたのが、高齢化対策への不安と大型店の開業で地元商店がさびれてきているという実感。不況感ともあいまって、地元の発展に楽観的な声はどちらかというと弱勢だった。

### 調査概要

リビング新聞2001年10月20日号、11月10日号掲載の紙面アンケート。応募 総数2873件の中から、16市と神戸市の6区、大阪市の9区をピックアップし、女性の回答各30サンプル(大阪市の区は20サンプル)を抽出し集計した

街に活気があるか (%)



### < 調査項目 >

- 1.公園や緑地について満足か (市区別)
- 2.図書館などの公的施設について満足か (市区別)
- 3.ホール会館などの公的施設について満足か (市区別)
- 4.体育館などの公的スポーツ施設について満足か (市区別)
- 5.総合病院などの医療施設について満足か (市区別)
- 6.子供のための学校や教育環境について満足か (市区別)
- 7.商業施設の充実について満足か (市区別)
- 8.物価について満足か (市区別)
- 9.育児の施設、サービスについて満足か (市区別)
- 10.周囲の住人の感じのよさについて満足か (市区別)
- 11.鉄道の利便性について満足か (市区別)
- 12.単純集計・街の暮らしの総合評価の平均点
- 13.このまま住み続けたいかどうか (市区別)
- 14.行政に望むこと (市区別)
- 15.税金を投入してほしいこと (市区別)
- 16.自分達もしなくてはならないこと (市区別)
- 17.行政の子育て支援策は十分か (市区別)
- 18.安全・防犯対策への警察・行政の対応は十分か (市区別)
- 19.街は活気があるか (市区別)

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

【問い合わせ】 TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430